高野山町石道　九度山駅83m～大門843m（和歌山県高野町）

山行報告　≪大宮岳稜会≫
日時：令和7年（2025 年）5 月 20 日（火）日帰り **【個人】** 提出者＞簑島
メンバー：簑島、他 2 名　男1名　女2名　合計3名

行程：
南海線萩ノ茶屋駅 5:48ー（南海高野線）ー6:17 北野田駅 6:19ー（南海高野線急行）ー九度山駅 7:02
九度山 7:12･･･慈尊院 7:38･･･六本木峠 9:31･･･古峠 9:50･･･9:54 二つ鳥居 10:00･･･神田地蔵堂 10:17･･･10:58 笠木峠 11:05･･･矢立 11:47･･･大門 14:10
根本中堂から奥の院まで見学　奥の院 16:04ー（南海りんかいﾊﾞｽ）ー16:23 高野山駅
17:43ー（高野山ケーブル）ー極楽橋駅 17:48→南海線とＪＲ線で京橋駅へ

装備：ツエルト、ヘッドランプ、雨具、防寒着、コンパス、地図、非常食、スマホ、充電器、ストック
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

感想：　約22km180基の町石（1 町＝約109m）を慈尊院180町石から根本大塔1町石まで歩いた。初めて乗る南海線の無人駅九度山を降りると、駅舎には真田家の家紋六文銭のポスターがあちらこちらに貼ってあった。真田家というと長野の上田市だと思っていたが、お恥ずかしながら、関ヶ原の戦い後に九度山に移った事を今回知った。スタートは百八十町石のある慈尊院だ。そこから登りの開始。最初は柿畑の間の山道を歩く。これも後で調べたら、ここ九度山は高級富有柿の有名な産地だそうだ。途中作業中の柿農家の方が「夏ミカン持っていきなさい（の関西弁）」と声をかけてくださり、それぞれ一個ずつ頂いた。これが後でどれだけ助かったことか。この後は黙々と歩いた。石を一個ずつカウントダウンしながら。二つ鳥居を過ぎた後、ゴルフ場の横を通る所があり、プレー中のゴルファーから励ましの言葉をいただく。この日は青空で気温も上がり、日陰を歩いていても汗が噴き出す。休憩時、頂いた夏ミカンを食べクエン酸で元気を取り戻しながら、最後の急登を終えて、大門に到着した。高野山の町中に入りファミマの前あたりの一町石を確認後、500ccのコーラを飲み干してから根本中堂から奥の院まで歩き、帰途に着いた。
この日の歩数は 48,510 歩で、最後は足が棒になり、私にとって高野山町石道は修行の道だった。

スタートの慈尊院

町石道

高野山大門